

第5学年1組 社会科学習指導案

平成26年 12月18日(木) 2校時

指導者 教諭 佐々木 比呂子

場 所 5年1組教室

1 本研究授業の提案

工業の盛んな地域の条件について考えさせるための手立だとして、以下の2つについて提案する。

- (1) 日本の工業地帯と地形、人口、高速道路などの地図を比較させることで工業地帯の特色に気付かせる。
- (2) ワークシート(クラゲチャート)をもとに自分の考えをもたせ、他の友達の見解と交流させることで、考えを広げさせる。

2 本研究の授業技術課題

- (1) 工業の盛んな地域の特色に気付かせるための資料の精選と効果的な活用。
- (2) ワークシート、机間巡視による一人一人の考えの把握。

3 本研究授業で取り入れた言語活動

資料から読み取った内容や既存の知識、既習内容を関連付けることで一人一人が自分の考えをもち、気付いたことや考えたことを発表する。また、友達の考えと自分の考えを比較し、類似点や相違点に気付く。

4 単元名 わたしたちの生活と工業生産 工業生産と工業地域

5 単元の目標

我が国の工業生産と工業地域の様子に関心をもち、進んで調べることを通して、各種の工業生産や工業地域の分布、工業を支える運輸などの働き、各種の工業生産が優れた技術を開発・伝承しながら営まれて国民生活を支えていることを理解する。

6 指導計画(本時 3/6時間)

時	主 な 学 習 活 動
①	豊田市の周りにはどのような工場が広がっているか調べ、我が国全体の工業の特色に関心をもつ。
②	我が国の工業地帯や主な工業地域について調べ、まとめる。
③	工業が盛んな地域の条件について考える。(本時)
④	北陸工業地域の工業生産の特徴について調べ、まとめる。
⑤	大田区の工業生産の特徴について調べ、まとめる。
⑥	生産された工業製品は、どのように運ばれているのかを調べ、まとめる。

7 本時の展開

(1) ねらい

工業が盛んな地域の条件を考え、日本全体の工業の広がりとその特色についてまとめる。

(2) 指導過程

段階	学習活動	指導事項・留意点・評価
導入	1 京浜、中京、阪神工業地帯、瀬戸内工業地域の写真を見て、気付いたことを話し合う。 ・海の近く。海岸線が直線。 ・大きな道路がある。 ・煙突がある。 ・どの写真も似ている。 ・工場の建物が集まっている。	・写真を見ながら、気付いたことを自由に発表させる。 ・どの写真も、似ていることに気付かせたい。
展 開	2 工業が盛んな地域の条件について考える。 工業が盛んな地域の条件は何でしょう。 (1) 学習問題について予想する。 (発問) 工業が盛んな地域の条件は何かを、予想してみ	・前時の学習や、写真資料から予

